

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	カーディフ大学
留学先での所属学部・研究科:	Business Administration
留学先での在籍身分:	Exchange student
留学期間:	2022年9月～2023年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2023年6月18日
本報告書記入日:	2023年6月21日

### 1. 留学先大学について

1-1	受入許可書 (Acceptance Letter) を貰えた日	8月 24日
	参加必須のオリエンテーション日	9月 26日
	学期:	① 10月 3日～ 1月 29日
		② 1月 30日～ 6月 16日
	③ 月 日～ 月 日	
	④ 月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	週に一回留学生向けのAcademic Writingのクラスがあります。
	勉強面でのサポート:	授業でわからないことを質問できるチューターの制度があります。
	精神面でのサポート:	
	住居・生活面でのサポート:	
	課外活動のサポート:	新学期が始まってすぐにクラブやソサイエティの紹介してくれるFresher's Fareがあります。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>

### 2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	寮は第十希望まで選べて、それぞれの寮でカラーが全然違うので気をつけて選ぶようにしましょう。例えば、Talybont Southはパーティが多く、夜中になってもうるさいので神経質な人にはお勧めできません。
-----	--------------------------------------	---

### 3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	大学の寮の場合、Wi-Fiは無料で接続でき電波も問題ありません。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	大学内は基本的にどこでも接続できます。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	医療機関は利用しませんでした。NHSは無料ですが長く待たされるそうなので健康管理に気をつけましょう。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	オンラインバンクを開設しました。Revolutはアプリで簡単に開設できるのでおすすめです。

### 4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO
	支給額(円/月):	80,000円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	17万円
	住居費:	(月額) 10万円 × (留学月数) 9ヵ月 = 90万円
	食費:	(月額) 3万円 × (留学月数) 9ヵ月 = 27万円
	保険料:	85,000円
	その他:	30万円
	合計(留学期間全体の費用):	約172.5万円

5. 異文化体験について	
留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	違いはたくさんありますが、自分が一番好きなところはどんな服装でも気軽に街に行けることです。真冬にセーターで歩いてもなんとも思われなかったのでその気軽さが好きでした。
5-1 大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	友達に誘われて地域の野球クラブに数回参加しました。
課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	アルバイトをしようと思い20社程度応募しましたが、面接ができたのは一つだけでそのレストランも人手が足りていたようで採用されませんでした。日本よりもバイトを見つけるのは難しいように感じました。
留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	治安は良い方だと思います。ただ、夜になると酔っ払った学生がたくさん歩いているのでトラブルに巻き込まれないように気をつけた方がいいです。

6. 就職活動について	
6-1 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	大学院に進学予定なので特にしてないです。

7. アドバイス、振り返り	
7-1 現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	あまりないです。
7-2 現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	爪切りは持ってきた方がいいです。
7-3 留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	学する前は海外で生活することに大きなハードルを感じていましたが、実際住んでみると想像以
7-3 語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:( IELTS ) 6.5 点 → 帰国後:( IELTS ) 7.0点
7-4 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	ブリストルにバスで一人で行った際、帰ろうとした時にiPhoneの充電がなくなり、記憶だけを頼りにバス停まで辿り着いたこと。
7-5 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	ビザの取得や、保険加入の際には教務部の方々に大変お世話になりました。大学のサポートがあったからこそ安心して留学ができたと思います。
7-6 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦めます。留学中もKIBERプログラムの英語学習が活躍の場が多々あったので、
7-7 留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。 ・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価) 4
・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
・全体として留学に係る費用は安かったかと思いい、満足しましたか	2
・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
・留学全体の総合的な評価	5

## 8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

約9ヶ月間のイギリス留学の中で感じたことを勉強面、生活面について書いていこうと思います。まず、大学に関して日本と一番違うなと思ったのはグループワークで評価される授業が多かったことです。日本の大学は期末に個人でレポートを書いたり、試験で評価されることが多いですが、カーディフ大学ではグループでのプレゼンテーションやリサーチプロジェクトで評価されることが多かったように感じました。基本的に提出したものによってグループ全員が同じ成績をつけられるので、プロジェクトでは常に責任感を持って取り組まなくてはなりません。ですが、企業に就職したらグループ単位で仕事をするのがほとんどなので異なるバックグラウンドを持つ学生と同じ課題に取り組めたのは良い経験だったと思います。生活面に関しては、日本にいても絶対しないような経験をたくさんしました。例えば非公式ですが、現地の学生を集めてバドミントンサークルを立ち上げました。メンバーは約30人ほどいて、毎回楽しくバドミントンをしたり、終わった後にご飯を一緒に食べたりしました。このサークルを運営していく中で、インスタグラムのフォロワーをどうやって集めるのかを考えたり、どのようなイベントをすればメンバーの参加率が高まるかを考えたりする場面があり、このような経験はビジネスにおいても大いに役立つだろうと考えています。また、現地のクラブのイベントをサークルのインスタグラムで宣伝したり、割引チケットをもらったりしたこともあり、単なる趣味でも人を集めれば実際にビジネスをしている人たちとも関われることを学びました。日本でも何らかのサークルを作り、同じような活動をしようと考えています。自分が立ち上げたサークルの他にもHiphop dance, Japanese, Asian, K-pop dance, Business Schoolの5つのサークルに入っていて、さまざまなバックグラウンドを持つ学生たちと交友関係を深めることができました。中でも、Hiphop danceサークルでは冬に発表会があり、他のメンバーと何度も練習して、人前でダンスを披露するという経験をしました。自分はダンスを始めたのはこれが初めてで、習得に時間がかかりましたが、本番が終わった時には大きな達成感を味わうことができました。最後に、これから留学に行く人たちに伝えたいのは、与えられた環境で何をするかは自分次第なので悔いが残らないようにやりたいことを全てやった方がいいです。特に、これがやりたい！と思った時が一番エネルギーがあるのでその瞬間を逃さないようにした方がいいです。

## 9. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！

9-1	神戸大学では所属学部・研究科教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか？(あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。) ※閲覧資料にすることに同意しない場合でも、あなたの近況等を把握するため及び本プログラムの改善のために学内関係部署に転送することがあります。	はい
9-2	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-4	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-5	国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。(留学体験の発表等) ※可能な場合、後日連絡することがあります。	いいえ
9-6	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/ 週	留学先での 単位数	授業での 使用言語	履修して いる学生 数	予習、復習、テスト等の成績評価 についてアドバイスも含めて教え てください
1	Excellence in Managing Operations	Dr Qinyun Li/ Miss Yuan Hunang	Lecture 週 1 Tutorial 隔週	20	英語	約200人	前期は2回のオンラインクイズとグループプレゼンで評価。後期は2回のオンラインクイズとグループレポートで評価。グループでの課題が多いのでメンバーと仲良くなった方がやりやすいです。
2	Buyer Behaviour	Dr Olaya Moldes Andres/ Rebecca Scott	Lecture 週 1 Tutorial 隔週	20	英語	約200人	前期は2000wordsのエッセイで評価。後期は2時間の対面試験で評価。試験は辞書のみ持ち込み可能なので長文を書く練習をしておいた方がいいです。
3	Marketing Research	Dr Jang Seongsoo	Lecture 週1	20	英語	約200人	前期は2000wordsのエッセイで評価。後期は対面試験とグループプロジェクトで評価。このグループプロジェクトは実際にアンケートを取ったり、実際に分析ソフトを使ってグラフを作ったりするので実践的なマーケティングリサーチが学べます。
4	Marketing and Strategy	Dr Eleri Rosier	Lecture 週1 Tutorial 隔週	20	英語	約200人	前期は毎週の授業のまとめを計9回、各300words書いたものを評価される。後期は2時間の対面試験で評価。Buyer Behaviourと同じく試験では2時間文章を書きっぱなしなので長文を書く練習をした方がいいです。

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズについては授業によっても異なりますが、200人程度の生徒が大講堂で受ける授業が多いです。授業中は基本的に発言の機会はなく、スライドを見ながら教授の話を聞くことがメインです。このようなスタイルの授業はLectureと呼ばれますが、モジュールによっては20人程度で行われるTutorialと呼ばれるスタイルの授業が開かれます。Tutorialでは事前に課題が与えられ、その問題について他の学生とディスカッションをしたり、わからないところを教授に質問したりすることができます。成績評価は基本的には期末のエッセイ課題、もしくは期末試験が100%です。日本の大学と異なる点は、グループエッセイが多く、提出したエッセイの点数が全員共通の点数となるため個人課題よりもプレッシャーがあることです。当然ながら、自分のような交換留学生は現地の学生よりも英語力が低く、エッセイの書き方を詳しく学んでいないので自分が本当にグループに貢献できているのか不安になることがありましたが、学生たちとしっかりコミュニケーションをとることでできる限りの貢献はできたと思います。また、期末試験はほぼ全て対面でのエッセイです。2時間ずっと英文を書くことになるので長文を書く練習をしておいた方がいいと思います。現地学生の取り組み方は人それぞれですが、試験前になるとみんな図書館にこもってずっと勉強しているイメージでした。図書館は24時間空いているので勉強できる環境は整っていると思います。